



2023年7月27日

各 位

会 社 名 株式会社テリロジーホールディングス
代 表 者 名 代表取締役社長 阿部 昭彦
(コード番号 5133 東証スタンダード市場)

問 合 せ 先

役 職 ・ 氏 名 取締役執行役員グループ経営本部長 廣谷 慎吾
電 話 03-3237-3437

取締役会の実効性に関する評価結果の概要について

当社取締役会は、コーポレート・ガバナンスコードで実施が要請されている当社取締役会の実効性についての分析・評価を実施いたしましたので、ご報告いたします。

記

I. 評価の方法

- (1) 対象者：取締役・監査役 7名
- (2) 実施期間：2023年4月14日～2023年5月12日
- (3) 対象期間：2022年度（2022年4月～2023年3月）
- (4) 回答方法：【アンケート方式】
 - ・ 全25項目に対し、5段階評価
 - ・ 評価理由や意見等を必要に応じて自由欄に記載

II. 2023年度の取締役会の実効性に関する評価の結果（概要）

アンケートの分析・評価結果の概要は、以下の通りとなりました。

- ① 取締役会の役割・機能について

取締役会の役割・機能については、取締役自身の目指すべき姿や経営理念を踏まえた議論について、実効性が確保されていると評価されました。一方で、後継者計画や役員の報酬については、今後より活発な議論が必要との意見がありました。

② 取締役会の構成・規模について

取締役会の構成・規模については、業務領域に専門性をもった取締役・監査役が配置されていると評価されました。一方で、若手の抜擢、女性管理職・経営者層の登場が大変望まれているとの意見がありました。

③ 取締役会の運営について

取締役会の運営については、頻度・決議内容など、全体として実効性が確保されていると評価されました。経営に関わる重要性をふまえた決議・報告が設定されており、資料の事前配布や社外取締役・社外監査役の発言機会を含めたオープンで活発な議論が行われているとの評価でした。

④ 監査機関との連携について

監査機関との連携については、全体として実効性が確保されていると評価されました。特に内部通報制度の運用については適切になされているとの高い評価となりました。今後子会社を含めたグループ全体での監督体制の検討が必要との意見がありました。

⑤ 社外取締役との関係について

社外取締役との関係については、社外取締役の経験発揮について実効性が確保されていると評価されました。さらに取締役会以外の場においても社外取締役からアドバイスを受ける機会があるとの意見がありました。一方、社外取締役に対する会社理解のための機会については限定的との意見がありました。

⑥ 株主・投資家との関係

株主・投資家との関係について、全体として実効性が確保されていると評価されました。一方で、株主との建設的な対話を促進するための方針策定や、IR等で得られた意見についての積極的な議論などにより、業績や経営戦略が正しく株価に反映される体制が必要との意見がありました。

⑦ 総括

総括として、昨年度と比較してガバナンス体制の拡充については実効性が確保されていると評価されました。一方で、ガバナンス体制が意図通り機能しているかをチェックし、必要があれば迅速に改善することが重要との意見がありました。

III. 今後の対応について

当社の取締役会は、上記の分析・評価結果を踏まえ、課題として認識した事項については、今後改善に向けた取り組みを行ってまいります。またグループ会社において、実効性が適切に確保されていると認められた事項についても、なお一層取締役会の実効性を高めるための取り組みを強化・継続してまいります。